

町民の皆さまへ

6月2日夕方、町内のクリークに小学生の兄弟が転落し、溺れて亡くなるという、悲しい事故が発生しました。これからの成長が楽しみな子どもさんを亡くした、ご両親やご家族の悲しみを想うと、このような事故を二度と繰り返してはならないと決意しています。

町と致しましても、クリークの危険箇所を改めて再点検し、防護柵や救命具、看板の設置など、それぞれの状況に応じた対策を実施して参ります。

また、教育委員会や学校においては、児童生徒への安全教育や着衣水泳など、事故を未然に防ぎ、命を守る教育を充実して参ります。特に6月2日は児童生徒への安全教育の日として、町内の小中学校で一斉に安全教育を実施することに致しました。

子ども達を、今回の様な水難事故や交通事故、犯罪から守るためには、行政や学校の対応だけではなく、地域の皆さまのご協力が必要です。危険な行為や危険な場所で遊んでいるところを見かけた場合等にはお声がけ頂き、必要な場合は、学校や警察へご連絡をお願いいたします。これまで以上に、地域ぐるみで子ども達を犯罪や事故から守り、健やかな成長を見守って頂きます様お願いいたします。

令和2年6月15日

大木町長 境 公雄

大木町教育長 北原 孝徳